



第 34 号
 発行
 漆山地域
 コミュニティ協議会

地域の茶の間がはじまりました

漆山地域コミュニティ協議会
 社会福祉部



〈中組集落センター〉

漆山地域コミュニティ協議会の社会福祉部は「地域の茶の間」を地域の自治会と連携して10月から4か所の会場で行いました。

10月2日(土)に馬堀地区の中組集落センターで開催し、10月4日(月)漆山西集会所、10月12日(火)漆山中央集会所、10月18日(月)漆山東ふれあいセンターで、第1回目を開催いたしました。

「地域の茶の間」は、子供から高齢者、障害をお持ちの方、子育て中の親子など地域に暮らす誰もが気軽に立ち寄り、自由に時間を過ごせる自宅のお茶の間のような場所です。

毎月前記の集会所等で定期的開催いたしますので是非お立ち寄りください。



〈中央集会所〉



〈漆山西集会所〉



〈漆山東ふれあいセンター〉

◇漆山地域の人口：3,358人（男：1,646人 女：1,712人）◇世帯数：1,182世帯（令和3年11月末現在）

(注) 上記の人口・世帯数は、住民基本台帳（新潟市・区役所・町名別）より抜粋していますが、河井地区には潟頭地籍の住所が複数軒あるため、実際の人口や世帯数より少ない数字となっています。



約200年前の江戸時代に長岡藩漆山村で、庄屋の田辺庄右衛門が製造販売していた膠飴じゅうせん（ねばりけのある固い飴）作りを漆山地域コミュニティ協議会の産業文化部及びボランティアの人たちで行いました。

この飴づくりには、当時200人くらいの弟子がおり蒲原郡内の寺社の祭礼時に飴を売っていたので、かなりの量を製造販売していたことが想像できます。

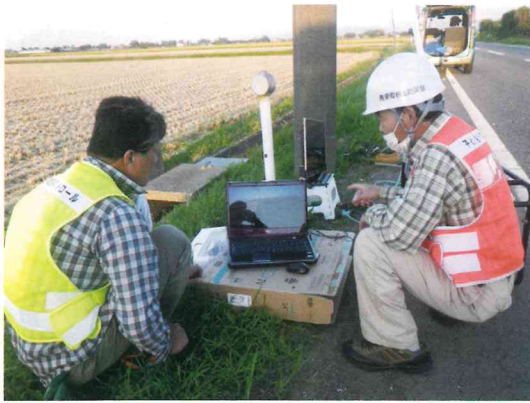
また、飴の商圈をめぐるほかの地域の飴屋と訴訟問題が起きて江戸の寺社奉行の裁きを受けて権利を得た証も現存していますので、商売は繁盛していたのでは無いでしょうか。

そんな飴を、現代に再現したいとの思いから、産業文化部では3か月前より準備して、10月27日(水)及び28日(木)の二日間にわたり作業を行い、何とか飴らしきものを完成いたしました。

指導者や詳細な製造方法が無いなか、手探りの作業を幾度も繰り返し二日目のお昼頃終わりました。

なお、令和4年1月に再チャレンジする予定です。





9月25日(土)環境防災部は、桜林地内に設置した防犯カメラの点検と運用状況を桜林自治会長の立会いのもと実施いたしました。

防犯カメラは、通学路わきにある電柱の比較的高い場所に設置してありますが、正常に稼働し映像も鮮明に描写されておりました。

今後も地域内の防犯カメラの点検は、定期的に行い地域内の防犯や事故防止の抑止を推進いたします。



防犯カメラ点検の実施と避難所運営研修会の開催

漆山地域コミュニティ協議会 環境防災部



10月10日(日)、10月24日(日)の両日、避難所運営研修会が、午前と午後で延べ4回、漆山公民館講堂で開催されました。

研修会には総勢68名の参加があり、避難所運営の目的、運営委員の役割等をスライドや、想定事例をグループ討議及び発表会を行い防災に対する認識を深めました。

なお、環境防災部は、この他にも地域内の防犯パトロール、交通安全の「のぼり旗」設置、カーブミラー磨き、並びに防犯研修会、交通安全研修会等を地元の警察署と連携して行っています。



漆山公民館主催の作品展が開催される

昨年はコロナ感染症拡大の影響で漆山地区文化祭が中止となりました。

今年は、コロナ感染症防止に注意を払い、加えて規模を縮小して地区の文化祭から公民館の作品展として開催となりました。

出展作品は、公民館事業で実施している絵画教室、カメラ講座を中心に公民館で活動する表具倶楽部、墨友会及び地域の方に協力していただきました。

11月20日(土)から11月27日(土)まで、休館日を除く7日間の開催となりました。

出展作品103点、出展者42名の作品展となり、例年の漆山地区文化祭に比べると少し物足りなさはありませんでしたが、長期開催したので皆さんゆったりと時間をかけて鑑賞していただきました。



なお、総来館者数は約200名前後で1日平均30名内外の来場者となりました。



漆山地域コミュニティ協議会に対するご質問やご意見をお聞かせください。

© 問合せ…漆山地域コミュニティ協議会 TEL・FAX 0256-73-2660

〒953-0061 西蒲区馬堀6001-56 (漆山公民館内事務局)